

2020年度 早稲田大学教員免許更新講習 シラバス

講習名	【8057】ヨーロッパ近現代史（教科書を資料として考える）		
担当講師	小森 宏美（教育・総合科学学術院教授）		
講習方式	対面講習		
教科	中学校社会、高等学校地理歴史		
主な受講対象	中学校、高等学校、中等教育学校 社会科、地理歴史科教諭		
開講日	2020年8月5日	講習時間	9:30 - 17:10
認定試験日	2020年8月5日	試験方法	講習内で評価シートを評価する。
認定試験の際の持込可否	ノートと教場での配布物のみ持込可。		

講習の概要	ドイツやフランスをはじめとするヨーロッパ各国の歴史教科書を実際に使いながら、いくつかのテーマを選んで自ら学び、その特徴や問題点などを検討する。日本語訳のない東欧諸国などの教科書についても、講師が要約して解説を行う。とりわけ、冷戦終焉後、歴史記述に大きな変化があったこれらの国については、当該社会や国際関係と連関も含めて検討を行う。		
講習計画 (時間割)	1時限:9:30-10:50 (80分) : ドイツ、フランス、イタリア、ロシアなどの歴史教科書の日本語訳を用いて、各国教科書の特徴について検討する。 (10分休憩) 2時限:11:00-12:20 (80分) : 日本の世界史教科書で「歴史的事実」として記述されている歴史事象をめぐるヨーロッパでの近年の議論を、近現代史を中心に、各国教科書を使用しながら紹介する。 (60分休憩) 3時限:13:20-14:40 (80分) : 前半50分は、受講者各自で各国教科書の記述を検討する。後半30分で気づきの点について議論を行う。 (10分休憩) 4時限:14:50-16:00 (70分) : ロシア・東欧の事例を中心に、「記憶の政治／抗争」などと呼ばれる状況を紹介し、小説や映画、ドラマ、博物館などいわゆるパブリック・ヒストリーに関連する分野に影響を及ぼしていることを検討する。 (20分休憩) 認定試験:16:20-17:10 (50分)		
教科書(受講生の方に購入、持参いただくもの)	書 名	出 版 社	価 格
参考文献	書 名	出 版 社	価 格
	リン・ハント(長谷川貴彦訳)『なぜ歴史を学ぶのか』	岩波書店	1600円＋税
その他			

講師から受講者へのメッセージ	参加型の授業にしていきたいと考えております。講義も行いますが、授業の中で議論を通じての発見があることを期待しています。
----------------	---